

4 まちづくりの基本プラン

4-1 まちづくりの基本メニュー

区 分		拠点・土地利用	道路交通	生活環境・コミュニティ施設等	自然、歴史文化、景観	防災・安全	交流・産業	情報・その他
テーマ5 参加・交流とみんなで進めるまちづくり	テーマ1 安全・安心で 人にやさしい まちづくり	◇土地利用構想を踏まえた 秩序ある土地利用の推進 (各テーマに共通)	☐ 歩道整備・拡充 ☐ ガードレールなど交通安 全施設の整備 ☐ 生活道路等の改良・整備 ○交通規制の検討 ◇散策や健康づくりコース づくり ◇道路や公共交通機関のバ リアフリー化・ユニバーサ ルデザイン	☐ コミュニティ施設などの バリアフリー化・ユニバー サルデザイン ◇石内小学校の児童数の増 加への対応	◇自然や歴史的資源とふれ あう、安全・安心な環境づ くり(危険箇所の改善な ど)	☐ 街灯、防犯灯の整備 ◇避難場所や避難路の充実 と周知 ◇通学路等の安全確保 ☐ 急傾斜地などの防災対策 ○自主防災会の強化		
	テーマ2 豊かな自然と 歴史文化が息 づくまちづく り	◇自然環境(緑、川…)の保 全・活用 ◇農地の保全・活用 ◇調和のとれた土地利用の 推進	◇石内を特徴づける街路樹 づくり ◇石内の自然や歴史文化を 紹介する案内板、または誘 導標識の設置(道路または 道路沿い)	◇自然や歴史を生かした公 園・広場の整備 ◇展望広場・眺望点、城跡公 園等の整備 ◇里山の再生 ◇河川の浄化(EMなど)	◇自然環境の保全・活用(ホ タルの里づくりなど) ◇桜や名木等の保全・活用 ◇神原・梶毛ダム周辺の魅力 づくり ◇名水の保全・活用 ◇川とふれあう場の確保・活 用 ◇かげともの道(旧山陽道) の調査・保存・活用 ◇城跡などの調査・保存・活 用 ◇登山道・山めぐり・遊歩道 の整備 ・己斐との境など(横岩、 釈迦が岳、釈迦の足跡と いわれる広い岩)への登 山ルート ・笹利〜神原のルートなど ○石内地域誌づくり ○獅子舞の復活 ◇石内十景(百景)づくり ○絵や写真コンテスト	☐ 自然環境や景観に配慮し た防災対策(工事) ◇新藤兼人記念館建 設計画の検討、生誕 地への記念碑設置 ◇水車のあったとこ ろの記録・マップ、 標識・説明板の設 置、展示や復元の検 討 ◇その他、歴史文化の 保存・継承・活用	○自然や歴史文化に関わる イベントなどの開催	○石内資源マップなどの充 実 ○石内ガイドブックの作成 ◇石内の自然や歴史文化を 紹介する案内板、または誘 導標識の設置
	テーマ3 快適で美しい 生活環境を備 えたまちづく り	◇生活拠点などにおける公 園広場、緑地、遊歩道など の整備と管理 ◇石内バイパス沿道等の沿 道環境づくり(景観形成な ど)	◇美しい道路環境の形成と 維持管理	☐ 公園・広場の整備 ☐ 集会所などの充実・整備 ☐ 下水道、合併処理浄化槽の 整備 ☐ 河川の浚渫 ◇生活環境を守り、高めるル ールづくりと実践 ○ゴミの不法投棄、ポイ捨て への対応	◇石内バイパス沿道や田園 などの景観形成 ◇石内周遊ルートづくり(散 策コース、登山道等) ◇緑のプロムナードづくり ○花見の場の確保・整備	○ゴミの不法投棄、ポイ捨て への対応 ○水質の保全・汚濁防止		○顕彰制度の検討
	テーマ4 便利で躍動感 のある元気な まちづくり	◇湯戸・下沖地区の土地区画 整理事業の支援→推進(西 風新都の計画の見直しな ど) ◇生活拠点の形成 ◇総合公園等の整備の検討 ◇石内バイパス沿道等の計 画的な土地利用の推進	○バス路線の充実 ☐ バス停の新設、安全・快適 化 ☐ アストラムラインの駅の 設置 ☐ 外環状線など骨格的な道 路網の整備	○医療施設の立地促進 ○買い物の便利さの確保 ↓ (商業施設の立地促進：湯 戸・下沖地区の土地区画整 理事業の推進)	◇自然や歴史的資源の観 光・交流資源としての活用 (生活への配慮などが必 要)		○耕作放棄地対策 ○石内の特産品づくり ◇市民農園の計画的な整備 と効率的な管理運営 ◇スローフードの推進(そ ば、郷土料理、加工、イベ ント…)	◇石内地区情報システム(ふ れあいチャンネル)整備の 検討 ○観光・交流、イベントなど の情報の受発信
		○情報の共有化：まちづくりだより、会合、ホームページ ○住民等の参加、体制の強化		○住民と行政の信頼関係の構築、連絡・調整、協働 ○勉強会、視察研修、講演会などの開催		○計画(構想)の管理(追加・修正、深化) ○具体化への取り組み		

※○(主として)ソフト □(主として)ハード ◇ソフトとハード